



開幕まであと3日!

愛知県政記者クラブ
名古屋市政記者クラブ
岡崎市政記者会、岡崎新聞記者会
中部芸術文化記者クラブ同時発表

平成25年8月7日(水)
愛知県県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室事業第一G
担当：森岡、松永
電話：052-971-6111
内線：724-680、681

あいちトリエンナーレ 2013 出品作家 横山裕一氏がプリウスPHVをラッピング!

トヨタ自動車株式会社から貸与されたプリウスPHVを、トリエンナーレ出品作家である横山裕一氏が、ラッピングしました。

このプリウスPHVは、名古屋市美術館に展示されるほか、トリエンナーレのPR活動やモバイル・トリエンナーレの会場にも登場する予定です。

1 横山裕一氏デザインのプリウスPHVについて

- (1) 台数 3台 ※3台それぞれが異なったデザインになっています。
- (2) 用途 展示用1台：名古屋市美術館（北側正面入口前）に展示します。
PR用2台：トリエンナーレのPRを行うために運行します。
(1台は参加アーティストの送迎用。1台は事務局PR活動用)

2 展示期間について

8月8日(木)から10月27日(日)

※8月8日は、午前11時に名古屋市美術館に設置予定。

3 デザインの内容

横山氏が自ら「ネオ漫画」と呼ぶ漫画作品を、3台のプリウスPHVのボディにデザインしている。そのうち2台は、キャラクターを全面にデザインしており、1台はオノマトペ（擬声語）を全面にデザインしている。

4 プリウスPHV写真

展示用



PR用



PR用



横山裕一（よこやま ゆういち）プロフィール

1967年宮崎県生まれ。東京を拠点に活動。武蔵野美術大学油絵科卒業後、漫画家として活動し、2004年に『ニュー土木』で単行本デビュー。横山は、人物の何らかの行為や物体の移動、変形などに伴う時間の流れを描くことを意識し、タブローではなく漫画という形式を選択している。自ら「ネオ漫画」と呼ぶその漫画作品では、自然と人工物が奇妙に融合した近未来的な風景を舞台に、特異なファッションに身を包んだ無表情なキャラクターたちが目的の不明瞭な活動を繰り広げるさまが描かれる。セリフを殆ど用いずに、オノマトペと効果線を多用しながら進行するスピード感のあるコマ展開によって、まったく新しい漫画表現を確立し、国内外で高く評価されている。『トラベル』（2006）『ベビーブーム』（2009）などの国内外での単行本の刊行と並行して、2010年川崎市市民ミュージアムでの個展「横山裕一 ネオ漫画の全記録：わたしは時間を描いている」をはじめ多数の美術館やギャラリーでの展覧会に参加。

今回は、その漫画世界と現実の都市風景とをリンクさせ、まちなかの様々な場所にコマを展開し、まちを「読む」ような仕掛けを行う。

（参考2）

横山裕一氏の作品展示場所

長者町会場 八木兵伝馬町ビル ショーウィンドウ
豊島ビル公開空地
八百吉ビル外壁
吉田商事株式会社1階

